

亶理町防災会議（第2回） 会議録

○開催日時 令和2年2月4日（火） 午前10時00分～午前11時30分

○開催場所 亶理町役場 2階大会議室

○議 題 (1) 亶理町地域防災計画の修正内容について
(2) 亶理町津波避難計画の修正内容について
(3) 亶理町業務継続計画（BCP）の策定について
(4) 今後のスケジュールについて
(5) その他

○配布資料

- ・会議次第
- ・亶理町防災会議委員・専門委員名簿
- ・資料1 亶理町地域防災計画の修正内容について
- ・資料1 一別冊 主な修正事項について
- ・資料2 亶理町津波避難計画の修正内容について
- ・資料2 一別冊 亶理町津波避難計画（案）
- ・資料3 亶理町業務継続計画（BCP）概要版
- ・資料3 一別冊 亶理町業務継続計画（案）
- ・資料4 今後のスケジュールについて

1. 開会

2. 委嘱状交付

事務局より地域防災計画・防災会議及び委員の位置付け等について説明
前回から変更となった者に対し山田町長より交付

3. あいさつ【山田町長】

第2回の防災会議を開催させていただきましたところ、委員の皆さま方には、お忙しい中、このようにお集まりをいただき、誠にありがとうございます。

この防災会議につきましては、亶理町地域防災計画を見直すにあたっての会議でございます。第1回の昨年2月4日に引き続き、ご出席をいただきましたこと感謝申し上げます。昨年、本日ご出席の関係機関の皆さま方には、計画修正に際しまして、それぞれの視点からご助言等をいただいております、それらを纏め上げたものを本日もご審議いただくものでございます。

どうぞよろしく願いいたします。

さて、昨年は『令和元年台風第19号』による甚大な被害が全国的に発生いたしました。本町におきましても、おかげ様で人的被害は発生しなかったものの、道路・水路や農林水産業関係

など、約6億7千万円の被害が生じたところでございます。関係機関の方々には、災害対応にあたり格別のご支援ご協力をいただきまして、心から感謝を申し上げます。

今般の計画修正につきましては、本年4月、新年度からの運用を目指して作業しているところでございますが、年明けから庁舎を今の場所に移転し、新たな防災拠点としての役割も始まったところでございます。実はこの部屋、大会議室が、万が一、何かがあったときには、ここが災害対策本部になる、いわゆるヘッドクォーターとして、ここで様々な方々にもご参集いただきまして対応を協議するという場所になっております。本日、皆さまのお手元に、庁舎のパンフレットをお渡しさせていただいておりますけれども、周りを見ますと、赤いコンセントが見えるかと思いますが、これが非常用の電源でございまして、72時間、使えるような設備になっております。そういう場所で、今後はここで、何かがあった場合に、活動していくということになります。先週におきまして、木曜日だったでしょうか、大雨警報が発表されました。いつ発生するか分からない災害に対して、今般の見直し作業は、非常に重要な機会ととらえております。

今回の計画修正に伴いまして、本町の復興事業が順調に進められ、避難路や防災広場等の整備が進んでいることから、それに合わせた『亘理町津波避難計画』の修正についても、併せて行うこととしております。また、東日本大震災クラスの災害が発生した場合に、優先すべき業務や体制を予め定めておき、行政機能を維持することを目的に、新たに『業務継続計画』、これはBCPと言われるものですが、策定を進めているところでございます。いずれも本日の会議においてご説明を申し上げる予定となっておりますが、委員の皆さまからのご意見をもとに、実効性ある計画となるよう、ご指導ご協力をお願いしたいと思います。

結びになりますが、本日ご出席の皆さま方には、日頃から本町防災行政の運営・推進に対し、ご尽力を頂いているところでございますが、今後とも変わらぬご指導ご協力を引き続き、お願い申し上げます。

4. 委員紹介

防災会議委員（出席者）及び専門委員の紹介

5. 協議

（1）亘理町地域防災計画の修正内容について

会 長：（1）亘理町地域防災計画の修正内容について、事務局より説明願います。

＊【資料1】【資料1－別冊】により、事務局から内容を説明。

会 長：（1）亘理町地域防災計画の修正内容について事務局より説明がありました。

委員の皆さま方から、何かご意見・ご質問等はありませんか。

<質疑等なし>

会 長：それでは専門的な知見から、佐藤先生からご意見等を頂戴できればと思います。

佐藤委員：東北大の佐藤でございます。いくつかコメントをさせていただきます。

まず、【資料1】のP2、警戒レベルの導入についてですが、一番大きな変更点としてはこの部分かと思っております。平成31年の3月に国からガイドラインが出されて、レベル標記になったということで、今年度の台風においては、皆さん何度も耳にしたのではない

かと思えます。この中で最も大きな要素は『警戒レベル5』の存在でありまして、災害が発生している旨の情報が、新たに項目に加わった点になります。今まで、避難勧告や避難指示（緊急）までしか行政から出せなかったものが、災害が発生した、ということ、役場から出せるようになったという点が、今回のガイドライン改定の一番大きなところではなかったろうか、と思っています。

そういった観点で、資料1－別冊 P8 中段の新旧対象表にもあるとおり、【警戒レベル5】災害発生情報の項目があり、町長が行う事項について記載があります。実は、台風第19号の際に、このレベル5の災害発生情報を出さなければならなかった市町村が今回は沢山あったのですが、このように地域防災計画にきちんと明記できていなかったのも、出す方法が無かったり出すルールが無かったりしたところが大変多かったものです。

それについて、今般の修正でこのように明記された、ということは非常に大きなことだったと思えますので、今後は、この記載したことを、できれば次の出水期までに、災害発生情報として「亘理町はこのように出します」ということを、登録型メールや町広報誌などで、示していただければ良いなと思っております。これは、まだ今の段階では、“災害発生情報”というものが、そこまで住民の皆さんに伝わっていない、浸透していないこともありますし、出した実績がある市町村も多くないので、それがどんなものか、ということが皆さん分かってらっしゃらないと思えます。ですので、事前にこういったものはお示しいただいて、皆さんに分かっていただいたうえで、もし“災害発生情報”が出た場合には、無理な避難行動等はしないで、身の安全を守るための行動を取ってください、という細やかなメッセージにつなげていただく必要があると思えます。大変大きな変更点となりますので、そういった町民の皆さまへの普及も併せて、ご検討いただければと思えます。

また、前回の会議が昨年2月で、その時点では西日本豪雨が最も大きな話題でしたし、その後、国からガイドラインが出て、台風第19号が起きて、と、色んなことを盛り込まなければならぬ絶妙なタイミングで、今回、お示しいただいたものと思っております。

私からのコメントは以上です。

会 長：ありがとうございます。

では、この内容で修正することとさせていただきたいと思えます。

よろしいでしょうか？

（場内より異議なしの声）

はい、それでは、そのように決定させていただきます。

（2）亘理町津波避難計画の修正内容について

会 長：（2）亘理町津波避難計画町の修正内容について、事務局より説明願います。

＊【資料2】【資料2－別冊】により事務局より内容を説明。

会 長：（2）亘理町津波避難計画の修正内容について事務局より説明がありました。

委員の皆さま方から、何かご意見・ご質問等はありませんか。

<質疑等なし>

会 長：それでは、この件につきましても、専門委員であります佐藤先生から、コメント等を頂戴できればと思えます。よろしく願いいたします。

佐藤委員：たびたび、東北大の佐藤でございます。

まず、この津波避難計画については、徒歩避難と車避難が組み合わさっているわけですが、これは全国的にも非常に珍しい計画でして、本編の裏表紙にありますとおり、初版は平成26年の2月でしたけれども、これを出した時にも非常に全国から注目の集まった計画でございます。

その後、町民の皆さんのほうで毎年、訓練を継続されていて、しかも過去5～6年ぐらいでしょうか、事故無く実施されているという実績があるものと思っています。

そしてまた、皆さんもう忘れてしまっているかも知れませんが、平成28年11月に福島県沖で早朝に地震がありましたよね、その際には、時間帯的なこともあったかもしれませんが、非常にスムーズに車避難を実行されていて、大きなトラブルも起きなかったこと、これもまた、全国的に注目いただいたところでした。

これらも踏まえましても、この津波避難計画については、非常に先進的な計画の1つとなっているところでございます。

しかも、平成26年に作った時点で、資料2P4・資料2－別冊P16に記載あるとおり、避難路の進捗に影響のある地域を定めており、これらの地域は避難路の完成をもって車避難が可能となる旨、記載がありまして、大変素晴らしい進捗管理であると思います。

できれば、計画（修正したもの）の公開時に、町民の皆さんに誤解の無いように、避難路整備完了後の姿も併せて、分かりやすいようにお示しいただければと思います。

私からのコメントは以上でございます。

会長：ありがとうございました。この資料、資料2－別冊の後半部分には、地区ごとの避難方法を個別に記載しております。こういった形で、今後とも町民の安全・安心のために、避難計画を作って参りたいと考えております。

では、この内容でよろしいでしょうか？

（場内より異議なしの声）

はい、ありがとうございます。そのように決定させていただきます。

（3）亘理町業務継続計画（BCP）の策定について

会長：（3）亘理町業務継続計画（BCP）の策定について、事務局より説明願います。

*【資料3】【資料3－別冊】により事務局より内容を説明。

会長：（3）亘理町業務継続計画（BCP）の策定について、事務局より説明がありました。

この件については、本日、各企業の方々にもご出席いただいております、おそらく各社でも、BCPを策定・運用されていることと思いますが、何か、ご意見等はありませんか。

<質疑等なし>

会長：よろしいでしょうか。では、すみません、佐藤先生から、この点につきましても今後にか追加するような点や、ご感想などありましたらお話しをお願いいたします。

佐藤委員：それでは少しお話をさせていただきます。資料3－別冊P16が最も分かりやすいかと思しますので、お聞きいただければと思います。

おそらく、一部の方はBPCという単語自体が耳馴染みのない言葉だと思いますけれども、昨今、とても流行っていると言いますか、認知度は急激に伸びているものにはなります。

しかしながら、決して策定している率や件数は多くないものになりまして、そういった意味では、これも亘理町は先進的な計画のうちの1つかな、と思います。

そして、只今お聞きいただいたページの図が最も分かりやすいかと思いますが、災害の時に新たに発生する必要業務を“災害対応業務”と言っており、いま、この日常の中でやっていることを“通常業務”として、それぞれ分類されているものです。ただ、町の機能を維持するためには、どちらも実施していかなければならないので、業務継続計画という名前が付いているものになります。

では、災害が起きた時に、何を続けなければいけないのか、というのと、その例が、同じ資料のP20に一部抜粋という形で記載されています。通常業務と災害対応業務が、それぞれ段階ごとに記載されていますよね。その中で、災害対応業務のほうは、先ほど見ていただいた地域防災計画に出て来る単語が沢山あると思いますけれども、通常業務のほうに書いてあることも、実は災害が起きたからと言ってやめてはいけない、続けないと町を維持できない、というものになります。これらがしっかりと整理されていて、大変分かりやすいです。そういった観点からすると、BCP そのものを実働すること自体も重要なんですが、それ以前に、しなければいけないこと・やめても仕方ないこと、を整理分類した点は、非常に大きな成果ではなかったかな、と思います。

そのような中で1点、リクエストと言いますか、ご提案の意見になりますけれども、資料4 P4にあるとおり、非常時の優先業務に対する職員の需給状況に関しては、非常に深刻と言いますか、難しい状況にあることが見て取れます。その対応策としては、アクションファイルに記載いただいていますし、課題に対する事前整理もされていますので、非常に良い取り組み方とは思いますが、そもそもの職員数が十分ではないような感触もあります。実情、日頃から、やらなければいけないことが多く、更にその上に災害対応業務も重なってくるような。例えば、避難所の開設運営に際して、地域住民の参画と相互体制の構築をする、ということで記載はありますが、それでも職員の人数が足りていない。そういった状況に対応するために、例えば、避難所運営に関しては、従来手法に加えて、民間企業のようなアウトソースも視野に入れて、極力、町職員の負担を減らす、頭脳となる職員を庁舎に残す、といった観点も、町の復旧復興を早める1つの手段となりますので、昨今あるアイディアの1つとして、今後の参考になればと思い、お示しさせていただきました。私からは以上です。

会 長：ありがとうございました。

今年4月からの策定、ということで、本編とアクションファイルの様態で、今後は進めることと考えているものですが、この職員参集状況・需給状況の表を見ますと、何か大きなことがあった際には、住民の方にもお手伝いいただかなければならない、ということも出て来ようかと思えます。今後とも皆さま方にはご協力をいただければと思います。

(4) 今後のスケジュールについて

会 長：(4) 今後のスケジュールについて、事務局より説明願います。

*【資料4】により事務局より内容を説明。

<質疑等なし>

(5) その他

会長：(5) その他として、皆さま方から何かありますでしょうか。

無ければ協議事項の方は終了とします。

<特になし>

6. 閉会